

早川平会計事務所通信

7月号 VOL. 032

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和ビル2階

電話：03-3254-2171 F A X：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



いつもお世話になります。山菜採りに出かけて行方不明になった女性が、翌朝自力で下山したというニュースがありました。山水を飲んで喉の乾きをいやし、風呂敷を足にかけたり頭にかぶったりして寒さをしのぎ、夜は木陰に座って念仏を唱え続けたそうです。女性の年齢は80歳。今さらですが「女性は強い！」ですね。

【法人税率0%の地域に会社を移したら?】

世界の法人税率は、最も水準の高い40%台の日本やアメリカなどをはじめ、なんと0%のケイマン諸島などで幅広くあります。

「じゃあ、法人税が無いケイマン諸島に会社を移そうかな…」と、真剣に考えたくありませんね。日本では、「国内に本店、もしくは主となる事務所がある法人」のことを「内国法人」と呼んでいます。



逆に、「国内に本店、もしくは主となる事務所がない法人」のことを「外国法人」と呼んでいます。内国法人の場合、国内はもちろんのこと海外支店を通じて得た所得も、日本での課税対象になります。

つまり、日本に本社のある会社が、法人税率0%のケイマン諸島に支店をつくり、ケイマン諸島で所得を得たとしても、その分も含めて日本の高い法人税率で課税されることとなります。では逆に、ケイマン諸島に本社を置き、日本に支店をもつ外国法人をつくったとします。この場合、日本支店が得た所得は、ケイマン諸島の法人税率0%が適用され「法人税は不要」かと言えばそうはなりません。外国法人の場合は、「日本で生じた所得に対してのみ」日本の法人税率で課税されるのです。

つまり、内国法人でも外国法人でも、日本で商売をして得た所得は、日本の高い法人税率から逃れることはできないということですね。

【「不況」が脇役を主役に変えた! ?】

一昔前までは、餃子のおまけ的存在だったラー油が今、食べるラー油としてブームです。唐辛子や香辛料のほか、香味野菜やナッツなどをぎっしり加えた具だくさんのラー油はそのままご飯にのせても美味しく、深い旨みは調味料としても秀逸です。大手メーカーから地方の小さな専門店までが、続々と新製品を開発しヒットを飛ばしています。不況による肉食志向が高まる中、手軽さや用途の広さだけではなく、本格的な味へのこだわりが消費者の心を捉えているようです。

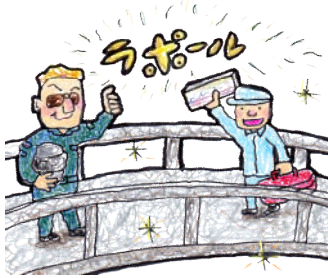


A型	B型	O型	AB型
心配事や悩み事は一人で抱えず、上司やその事に詳しい専門家に相談すると良い解決策がきっと見つかります。	気分が変わりやすい月ですから、周囲の人を振り回さないようご注意を。心を落ちつける工夫をすると吉です！	携帯電話をキレイにしておくと、良い情報が飛び込んできそう。ストラップも新しい物に変えると更に吉です！	お財布の整理整頓が金運UPの鍵。お店のポイントを上手に貯める情報をゲットすると思われぬ利に繋がります。

【お客様との間に架ける橋】

作るのは大変でも壊すのは簡単な信頼関係。信頼は人間関係の礎（いしずえ）です。商売においても最重要課題であり、事態が深刻なときほど信頼関係がものを言います。臨床心理学では信頼関係のことを「ラポール」と言いますが、これはフランス語で「橋を架ける」という意味です。あなたの会社とお客様との間には「信頼」の橋が架かっているのでしょうか。その橋は危機的状況にも耐えられるほどの強度を備えているのでしょうか。

こんな話を聞きました。U.S. アーミーの戦闘機には、一機につき16人の整備士が配置されているそうです。戦闘機に乗るのは操縦士2名と副操縦士2名。彼ら4人は自分の命を16人の整備士に預け、16人の整備士は4人の命を守っている。そこに信頼がなければとても成り立たない関係です。整備士たちはプロとしての仕事で4人の信頼に込めているのですが、タバコのワンカートンでも渡すと、よりしっかり整備してくれるそうです。もちろん、これは「袖の下」的な意味合いではありません。



「いつもありがとう。これからもよろしく頼むよ」という気持ちを「形」で表してくれた誠意に、人の心が動くのです。その「形」が相手の負担になるようなものでは、かえって誠意が空回りするかもしれません。4

人と16人の間に信頼という橋が架かっているからこそ、タバコのワンカートンというさり気ない気遣いによって橋の強度が増すのでしょうか。「ありがとう」の言葉に心を込めれば、感謝の気持ちは伝わります。常に丁寧な対応で自分を敬ってくれる相手を悪く思う人はいません。また、「形」ある表現が言葉や態度を補ってくれるのも事実です。「モノで釣るなんて」というのは過去にモノで釣られた経験がある人の発想かもしれません。信頼していない相手から「形」で示されても、「形」以上のものは伝わりません。お客様との間に「信頼」という橋が架かっていると自負しているのなら、時には相手に寄せる信頼を「形」で表すことで、危機的状況にも強い橋になるだろうと思います。

痛快！ えだまめ君
画：ほりひろみ



自転車
サドルの
位置で
夫知る
（あら、意外と足が長かった？）